



# はじめに Monitoring

NetApp  
May 25, 2022

# 目次

はじめに .....	1
監視サービスについて説明します .....	1
モニタリングサービスのクイックスタート .....	3
監視を有効にします .....	3

# はじめに

## 監視サービスについて説明します

監視サービスを使用すると、Cloud Volumes ONTAP インスタンスの健全性とパフォーマンスを把握し、クラウドストレージ環境のパフォーマンスのトラブルシューティングと最適化に役立てることができます。

### の機能

- すべてのボリュームを自動的に監視します
- ボリュームのパフォーマンスデータを IOPS、スループット、レイテンシの観点から表示します
- パフォーマンスの問題を特定して、ユーザおよびへの影響を最小限に抑えます アプリケーション

### サポートされているクラウドプロバイダ

監視サービスは、Cloud Volumes ONTAP for AWS と Cloud Volumes ONTAP for Azure でサポートされます。

### コスト

ネットアップは監視サービスの使用を無償で提供していますが、Cloud Manager は VPC で仮想マシンを起動して監視を容易にします。この VM を使用すると、クラウドプロバイダから料金が発生します。

### 監視サービスの仕組み

Cloud Manager には ["ネットアップの Cloud Insights サービス"](#) 監視機能を提供します。

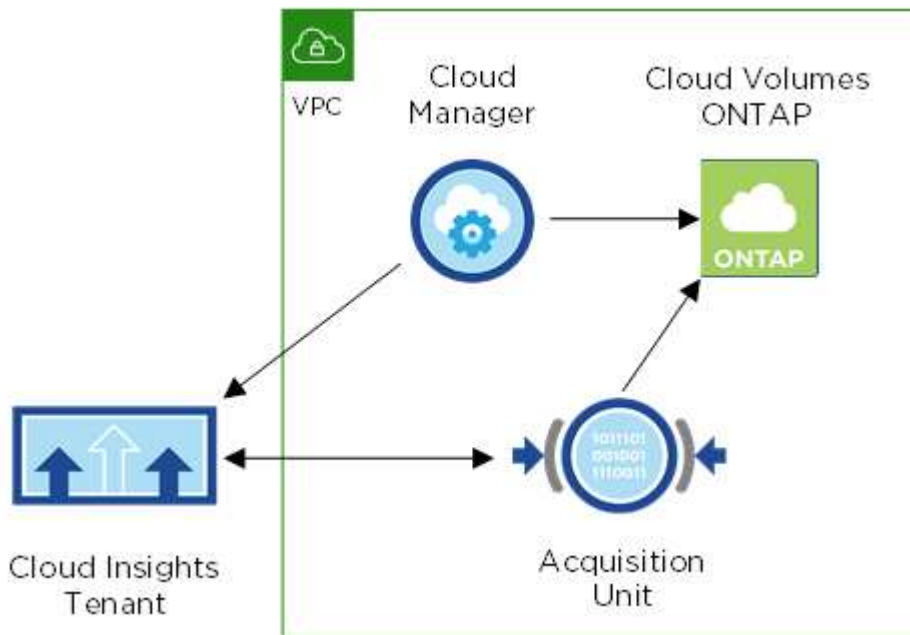
Cloud Insights と Cloud Manager の統合の概要は次のようになります。

1. Cloud Volumes ONTAP で監視サービスを有効にした場合。
2. Cloud Manager によって環境が設定されます。次の処理を行います。
  - a. Cloud Insights テナント（*environment*）を作成し、ネットアップアカウントのすべてのユーザをテナントに関連付けます。

テナントがすでに存在する場合、Cloud Manager はその既存のテナントを使用します。
  - b. Cloud Insights の無償トライアルを有効にします。

29 日目に、計画は自動的に試用版から移行します ["Basic エディション"](#)。
  - c. Acquisition Unit と呼ばれる VPC / VNet に仮想マシンを導入します。Acquisition Unit では、ボリュームを監視できます（上記の「コスト」セクションに記載されている VM です）。
  - d. Acquisition Unit を Cloud Volumes ONTAP および Cloud Insights テナントに接続します。
3. Cloud Manager では、監視をクリックし、パフォーマンスデータを使用してパフォーマンスのトラブルシューティングと最適化を行います。

次の図は、AWS VPC 内のこれらのコンポーネント間の関係を示しています。



### Acquisition Unit の略

監視を有効にすると、Cloud Manager によって Acquisition Unit がコネクタと同じサブネットに導入されます。

An Acquisition Unit は、Cloud Volumes ONTAP からパフォーマンスデータを収集し、Cloud Insights テナントに送信します。Cloud Manager は、そのデータを照会してユーザに提供します。

Acquisition Unit インスタンスについては、次の点に注意してください。

- AWS では、Acquisition Unit は 100GiB の gp2 ボリュームである t3.xlarge インスタンスで実行されます。
- Azure では、Acquisition Unit は 30 GiB の標準 SSD を搭載した D4\_v3 仮想マシンで実行されます。
- インスタンスの名前は *CloudInsights-AU* で、生成されたハッシュ（UUID）が連結されます。例：  
*CloudInsights - AU-FAN7FqeH*
- 1 つのコネクタに展開される Acquisition Unit は 1 つだけです。
- 監視タブでパフォーマンス情報にアクセスするには、インスタンスが実行されている必要があります。

### Cloud Insights テナント

テナントがまだない場合は、Cloud Manager で監視を有効にすると自動的に設定されます。Cloud Insights テナントを使用して、Acquisition Unit で収集されたパフォーマンスデータにアクセスできます。テナントは、NetApp Cloud Insights サービス内のセキュアなデータパーティションです。

### Cloud Insights Web インターフェイス

Cloud Manager の Monitoring（監視）タブには、ボリュームの基本的なパフォーマンスデータが表示されます。ブラウザから Cloud Insights Web インターフェイスにアクセスして、より詳細な監視を実行したり、Cloud Volumes ONTAP システムのアラートを設定したりできます。

## 無料トライアルとサブスクリプション

Cloud Manager を使用すると、Cloud Insights の無償トライアルで Cloud Manager 内のパフォーマンスデータを提供し、Cloud Insights Standard Edition の機能を試すことができます。

29 日目に、計画は自動的に試用版から移行します ["Basic エディション"](#)

Cloud Insights Web インターフェイスから追加機能にアクセスするには、Standard Edition または Premium Edition に登録することもできます。

["Cloud Insights に登録する方法について説明します"](#)

## モニタリングサービスのクイックスタート

Cloud Volumes ONTAP のパフォーマンスの監視を開始するには、いくつかの手順を実行します。

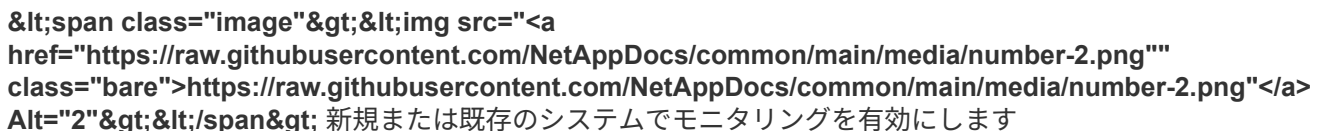
### クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

 <https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/common/main/media/number-1.png>  
Alt="one"  設定のサポートを確認します

- AWS または Azure で実行されている Cloud Volumes ONTAP システムが必要です。
- AWS の場合、バージョン 3.8.4 以降を実行しているコネクタが必要です。
- Azure では、バージョン 3.9.3 以降を実行するコネクタが必要です。

["要件の詳細を確認してください"](#)。

 <https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/common/main/media/number-2.png>  
Alt="2"  新規または既存のシステムでモニタリングを有効にします

- 新しい作業環境：作業環境を作成するときは、必ず監視を有効にしてください（デフォルトで有効になっています）。
- 既存の作業環境：作業環境を選択し、\* 監視の開始 \* をクリックします。

["監視サービスの有効化の詳細については、こちらを参照してください"](#)。

「\* Monitoring」をクリックし、ボリュームのパフォーマンスデータを表示します。

["パフォーマンスの監視の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

## 監視を有効にします

Cloud Volumes ONTAP のパフォーマンスの監視を開始するには、いくつかの手順を実行

します。

## 要件

以下の要件を読み、サポートされている構成になっていることを確認してください。


サポートされる **Cloud Volumes ONTAP** のバージョン

AWS または Azure 内の任意のバージョンの Cloud Volumes ONTAP。

サポートされているコネクタ

- AWS の場合、バージョン 3.8.4 以降を実行しているコネクタが必要です。
- Azure では、バージョン 3.9.3 以降を実行するコネクタが必要です。



をクリックすると、コネクタのバージョンを表示できます  アイコンをクリックして、[ サポート (Support) ] > [ コネクタ (Connector) ]

## Cloud Central の E メールアドレス

Cloud Central ユーザアカウントの E メールアドレスは、業務用 E メールアドレスである必要があります。Cloud Insights テナントの作成時には、Gmail や Hotmail などの無料電子メールアドレスはサポートされていません。

## Acquisition Unit のネットワーク

Acquisition Unit は、Cloud Insights サーバへの接続に双方向認証を使用します。認証するには、クライアント証明書を Cloud Insights サーバに渡す必要があります。これを実現するには、データを復号化せずに HTTP 要求を Cloud Insights サーバに転送するようにプロキシを設定する必要があります。

Acquisition Unit は、Cloud Insights との通信に次の 2 つのエンドポイントを使用します。Acquisition Unit サーバと Cloud Insights の間にファイアウォールがある場合は、ファイアウォールルールを設定する際に次のエンドポイントが必要です。

```
https://aLOGIN.<Cloud Insights Domain>  
https://<your-tenant-ID>.<Cloud Insights Domain>
```

例：

```
https://aLOGIN.c01.cloudinsights.netapp.com  
https://cg0c586a-ee05-45rb-a5ac-  
333b5ae7718d7.c01.cloudinsights.netapp.com
```

Cloud Insights ドメインとテナント ID の特定についてサポートが必要な場合は、製品内チャットでお問い合わせください。

## コネクタのネットワーク

Acquisition Unit と同様に、コネクタは Cloud Insights テナントにアウトバウンド接続する必要があります。しかし、コネクタが接触するエンドポイントはわずかに異なります。テナントの短縮 ID を使用してテナントホストの URL にアクセスします。

`https://<your-short-tenant-ID>.<Cloud Insights Domain>`  
例：

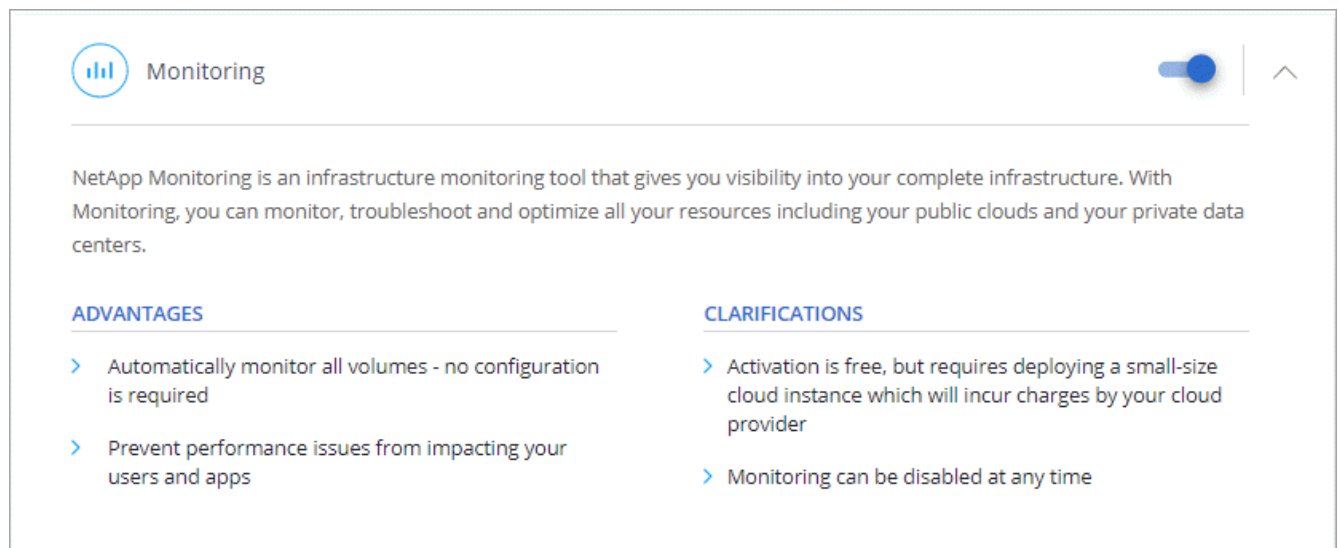
`https://abcd12345.c01.cloudinsights.netapp.com`  
テナントホストの URL  
の特定についてサポートが必要な場合は、製品内のチャットでお問い合わせください。

## 新しいシステムで監視を有効にします

監視サービスは、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。

### 手順

1. [ Cloud Volumes ONTAP の作成 \*] をクリックします。
2. クラウドプロバイダとして Amazon Web Services または Microsoft Azure を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
3. [ 詳細と資格情報 ] ページに入力します。
4. [ サービス ] ページで、監視サービスを有効のままにして、[\* 続行] をクリックします。



## 既存のシステムで監視を有効にする

作業環境からいつでも監視を有効にできます。

### 手順

1. Cloud Manager の上部にある \* Canvas \* をクリックします。
2. 作業環境を選択します。
3. 右側のペインで、\* モニタリングの開始 \* をクリックします。



CVO2

■ On | AWS

ⓘ

⋮

✕

SERVICES



Cloud Compliance

■ Off

Enable Compliance

⋮



Backup to Cloud

■ On

1  
Volume Backed Up

⋮



Kubernetes

■ Off

Activate Kubernetes

⋮



Monitoring

■ Off

Start Monitoring

⋮



## 著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

## 商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。